

与教第1784号  
令和8年2月4日

与那原町立学校保護者・地域の方々

与那原町教育委員会  
教育長 垣花 英正  
(公印省略)

## 大麻等薬物乱用防止に係る指導の徹底及び協力について(お願い)

向春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本町の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、マスコミ報道等でご承知の通り、中・高校生による薬物事犯が相次いで発生し、ついには与那原署管内でも男子中学生が逮捕されるという危機的状況にあり、これまでにないほど子供たちのすぐ側まで危険が及んでいます。

今回の大麻等薬物乱用が拡大している現状を受け、児童生徒の身近に大麻等の薬物が迫っている事態を深刻に受け止めるとともに自分事として捉え、児童生徒が薬物乱用に対する正しい知識を身に付け、自分の身を守るために適切な判断や毅然とした行動がとれるよう、再度、薬物乱用防止教育の徹底を図る必要があります。

つきましては、子供たちを薬物の被害から守り、健全な育成を図るため、学校・家庭・地域が一体となった防止策を強化したく、下記の通り啓発および指導へのご協力をお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 家庭における取組(保護者の皆様へ)

○お子様の様子(交友関係、生活リズムの乱れ、不自然な外出、金遣いの荒さなど)に日頃から注意を払ってください。

○薬物は一度の使用でも「乱用」であり、脳や身体に回復不能なダメージを与えること、そして何より「犯罪」であることを、ご家庭でも話題にしてください。

○薬物の売買はSNSを通じて巧妙に行われます。見知らぬ人物との接触や、不審なサイトへのアクセスがないか、情報モラルの観点から対話をお願いします。

#### 2. 地域における見守り(地域・関係機関の皆様へ)

○公園、空き地、店舗の死角などで、子供たちがたむろしている、あるいは不審な大人が接触している場面を見かけましたら、学校や警察へ速やかな情報提供をお願いします。

#### 3. 学校の対応

○専門家(警察官、薬剤師等)を招いた授業を継続的に実施し、断る勇気と正しい知識を養います。

○悩みや不安を抱える生徒が、薬物に逃げることのないよう、教育相談体制を強化してまいります。

【重要】もし不安を感じたら 薬物に関する悩みや不審な点がある場合は、決して一人で抱え込みず、速やかに学校や教育委員会または下記の専門窓口へご相談ください。

少年相談窓口(沖縄県警察本部)

0120-276-556

薬物相談電話(沖縄県警察本部)

098-862-1483

与那原警察署

098-945-0110

与那原町教育委員会学校教育課

098-945-2361